Compact Cool キット　取扱説明書

製品番号	07-07-0330 (3-FIN) 07-07-0331 (4-FIN)

取り付けマウント位置：フレーム
オイル取り出し　　：シリンダー／スペシャルクラッチカバー
ホース　　：ラバーホース

適応車種	XR50/100 モタード	
	Ape50	(AC16-1000001 ～)
	Ape100	(HC07-1000001 ～)
適応条件	弊社製ボアアップキット又は 弊社製ダイカストマグネシウムクラッチカバー装着車	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
◎当製品は、適応車種に合致する車両で、弊社製ボアアップキット又は弊社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着している車両に取り付ける事が出来ます。また、ボアアップキットとダイカストマグネシウムクラッチカバーの両方とも装着している車両はオイルの取り出し方式を選択する事が可能となっております。
◎ダイカストマグネシウムクラッチカバー装着車両に当製品を取り付ける場合には、カバー部に傷が付かない様に注意して作業を行って下さい。
塗装が剥がれてしまった場合、剥がれた部分のみでも再塗装を行って下さい。
◎弊社製スーパーオイルポンプキットのラインナップが有る車両に関しましては同時装着を推奨します。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）
■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容

00-07-0134
ステーキット

00-07-0014
ホースセット

00-07-0047
オイルクーラー取り出し用

00-07-0147
ダイカストクラッチカバー用

09-07-005
ボアアップシリンダー取り出し

番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	コンパクトクール (3-FIN)	1	00-07-0124
	コンパクトクール (4-FIN)		00-07-0104
2	オイルホース 1500mm	1	00-07-0012 (2000mm)
3	バンジョーボルト B M10x1.25(ロング)	1	00-07-0132 (シーリングワッシャ付)
4	バンジョーボルト A M10x1.25(ショート)	2	00-07-0122 (シーリングワッシャ付)
5	バンジョー M10 (30°)	1	00-00-1444
6	バンジョー(ストレート)	2	00-00-1433
7	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0106 (10ケ入り)
8	バンジョー 12mm	2	00-07-0127
9	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0120 (シーリングワッシャ付)
10	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ケ入り)
11	オイルクーラーステー	1	――――――――
12	クッションラバー	2	00-00-0099 (4ケ入り)
13	カラー	2	00-00-0476
14	Uボルト	1	00-00-1447
15	フランジキャップナット 6mm	2	00-00-0294 (10ケ入り)
16	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20	2	00-00-0084 (5ケ入り)
17	結束バンド 200mm	2	00-00-0179 (10ケ入り)
18	ホースクランプ	4	00-00-0052 (2ケ入り)
19	オイルホールプラグ	1	00-02-0391

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
　尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

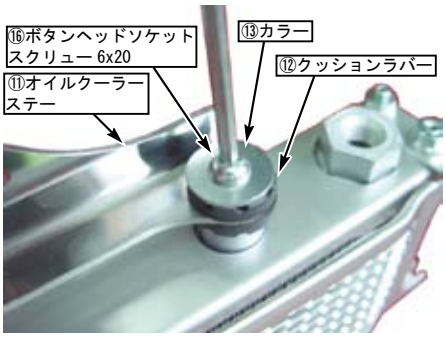
オイルクーラーキット使用上のご注意

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモスタットユニット（02-01-5052）を取り付けて下さい。
何れも取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意下さい。

●作業を始める前に

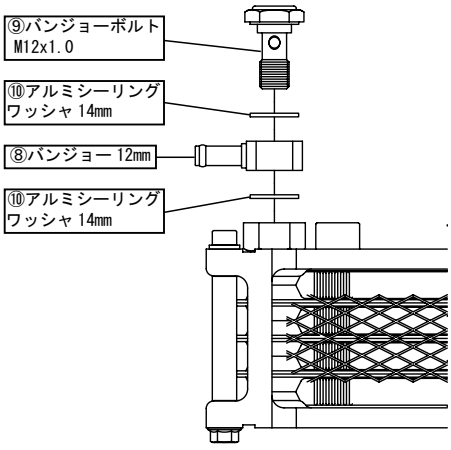
○キット内容をご確認下さい。
○車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させて下さい。
○ XR50/100 モタードにご使用の場合は、純正サービスマニュアルを参照し、L. シュラウドを取り外します。
また、アップタイプのマフラーを取り付けている場合、一度取り外して作業を行って下さい。
○⑪オイルクーラーステーに⑫クッションラバーを取り付け、取り付けたラバーに⑬カラーを取り付けます。
○組み立てたステーのクッションカラーに、⑯ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を通し、①コンパクトクール（以下オイルクーラー）を取り付けます。
写真を参照して、組み付ける向きを確認して下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



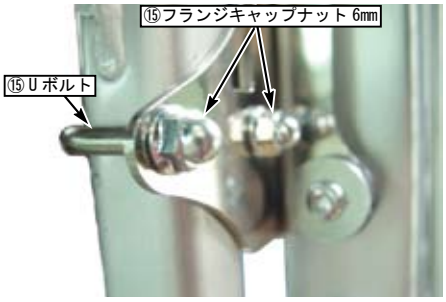
○⑨バンジョーボルト M12x1.0 に、⑩アルミシーリングワッシャ 14mm、⑧バンジョー 12mm、⑩アルミシーリングワッシャ 14mm の順で通し、オイルクーラーに仮締めします。

⚠ 注意：シーリングワッシャが、オイルクーラーヘッダー（6 角部分）の凹部からずれた状態でバンジョーボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。



○⑪オイルクーラーステーを⑭ U ボルトと⑮フランジキャップナット 6mm を使用し、写真を参考にフレームを挟み込む様に取り付けて下さい。
※フレームの溶接跡に接触しないように取り付けて下さい。
※取り付け後、ステアリングを左右一杯に切り、オイルクーラーと車体との干渉等が無い事を確認して下さい。

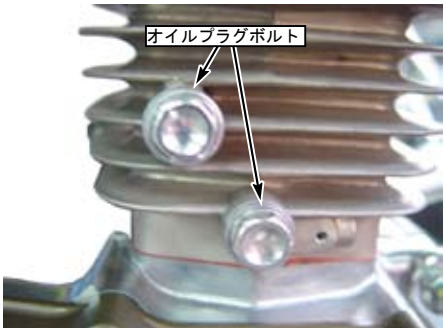
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
U ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



○お使いになる車両のオイル取り出し方法に応じて、
●シリンダーのオイルラインから取り出す場合
●ダイカストマグネシウムクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合
の項目に進んで下さい。

●シリンダーのオイルラインから取り出す場合

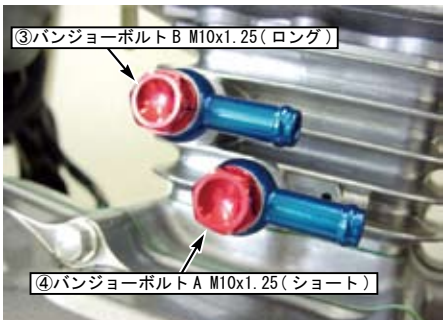
○オイル受けを用意して、シリンダー右側のオイルライン取り出し穴のオイルプラグボルトを取り外します。



○③バンジョーボルト B M10x1.25（ロング）に、⑦アルミシーリングワッシャ 10mm、⑥バンジョー（ストレート）、⑦アルミシーリングワッシャ 10mm の順で通し、シリンダー上側のオイルラインに仮付けします。
※ご使用になる車両のボアアップシリンダーが、ビッグフィンタイプの場合は、⑤バンジョー M10（30°）を使用して下さい。

○④バンジョーボルト A M10x1.25（ショート）に⑦アルミシーリングワッシャ 10mm、⑥バンジョー（ストレート）、⑦アルミシーリングワッシャ 10mm の順で通し、シリンダー下側のオイルラインに仮付けします。

⚠ 注意：この時、シーリングワッシャが、バンジョーのセンターに来ている事を確認して下さい。ずれたまま取り付けるとオイル漏れの原因となります。



○②オイルホース 1500mm を、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端に⑱ホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けた⑧バンジョー 12mm とシリンダーに取り付けた⑥バンジョー（ストレート）に差し込みます。
○仮付けしてある⑧バンジョー 12mm 及び⑥バンジョー（ストレート）の角度と、オイルホースの長さを調整します。
○⑨バンジョーボルト M12x1.0 と、③④バンジョーボルト M10x1.25 を規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12x1.0（オイルクーラー側）
トルク：25N・m（2.5kgf・m）
バンジョーボルト M10x1.25（シリンダー側）
トルク：13 ～ 15N・m（1.3 ～ 1.5kgf・m）

⚠ 注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6 角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態でバンジョーを固定しながら行って下さい。

○⑱ホースクランプを締め付けます。
※クラッチカバー側のホースバンドを締め付ける際は必ずクラッチカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。

⚠ 注意：クラッチカバーキットを取り付けた状態でシリンダーにオイルクーラーホースを接続した場合は、オイルホールプラグやサーモスタットユニットを絶対に取り付けないで下さい。
オイル通路が遮断されエンジンが破損する可能性があります。

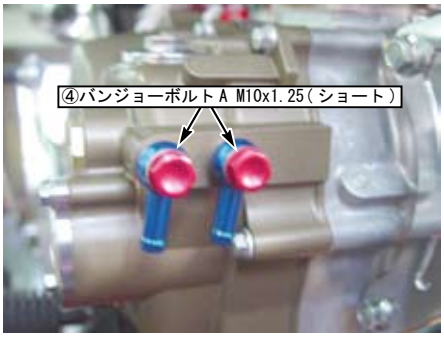
○●最終確認の項目へ進んで下さい。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●ダイカストマグネシウムクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合

○オイル受けを用意して、クラッチカバー側面部（車両前側）にあるオイルプラグボルトを取り外します。

○④バンジョーボルトA M10x1.25（ショート）に⑦アルミシーリングワッシャ10mm、⑥バンジョー（ストレート）、⑦アルミシーリングワッシャ10mmの順で通し、クラッチカバーに仮付けします。



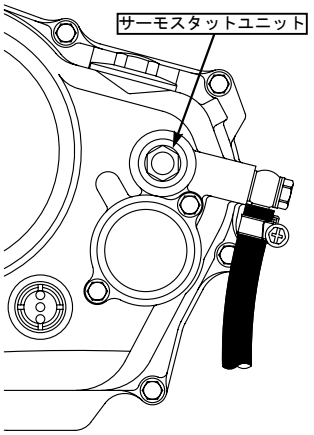
○②オイルホース1500mmを、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端に⑱ホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けた⑧バンジョー12mmと、クラッチカバーに取り付けた⑥バンジョー（ストレート）に差し込みます。
○仮付けしてある⑧バンジョー12mm及び⑥バンジョー（ストレート）の角度と、オイルホースの長さを調整します。
○⑨バンジョーボルトM12x1.0と③④バンジョーボルトM10x1.25を規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルトM12X1.0（オイルクーラー側）
トルク：25N・m（2.5kgf・m）
バンジョーボルトM10x1.25（シリンダー側）
トルク：13～15N・m（1.3～1.5kgf・m）

⚠注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態でバンジョーを固定しながら行って下さい。

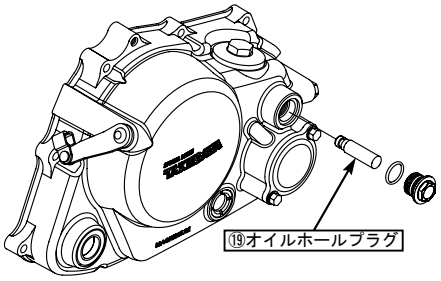
○⑱ホースクランプを締め付けます。
※クラッチカバー側のホースバンドを締め付ける際は、必ずクラッチカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。

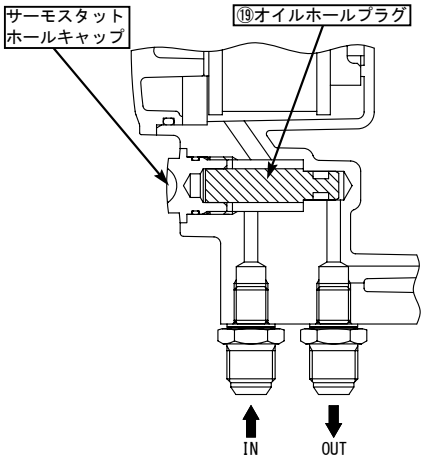
○（サーモユニットを取り付ける場合）
ホールキャップを取り外し、サーモスタットユニットを取り付けます。
※サーモスタットユニット取扱説明書をご確認下さい。



○（サーモユニットを取り付けない場合）
サーモスタットホールキャップを取り外し、⑲オイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m（1.3kgf・m）





○●最終確認の項目へ進んで下さい。

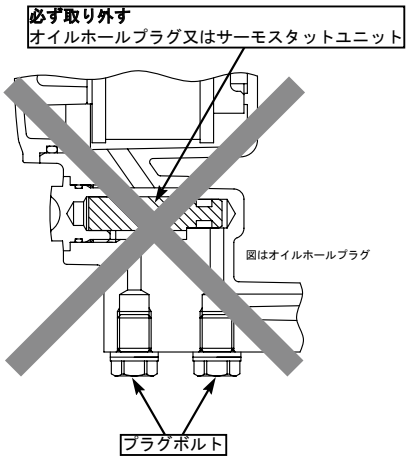
●最終確認

○取り付けの為に外した外装類やマフラーがあれば、元通り車両に取り付けます。
○ステアリングを左右一杯に切り、取り付けたオイルクーラーが、フロントフォーク等や車体と干渉しないか確認します。
○スパークプラグを外し、キックスターターを複数回踏みおろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。
○エンジンオイルを、オイルクーラー容量程度（4-FIN:60cc/3-FIN:40cc）追加し、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れの有無を確認して下さい。
エンジンを止め、約1分後に車体を垂直に立てて、オイルレベルゲージで基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

⚠注意：エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので、十分注意して下さい。

⚠注意：クラッチカバーからクーラーホースを取り出さない場合（クラッチカバー購入時のプラグボルトが取り付けられている状態）は必ずオイルホールプラグ若しくはサーモスタットユニットを取り外して下さい。何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンが破損します。

※クラッチカバーにプラグボルトを取り付けた場合、オイルホールプラグ若しくはサーモスタットユニットは取り付けないで下さい。（下記の様な状況は絶対行わないで下さい。）



◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデーターでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA